

点眼治療のコツ

緑内障をはじめとした眼疾患が、点眼で治療可能になっています。ただし、その効果を最大限に引き出すためには、注意点(コツ)があります。

『これまでは簡単に考えて点眼していたけど、先生に細かく教わってから具合がいいよ。』、というお話をよく聞きます。



点眼のコツ

- 1. 1滴だけ入れる**
2滴3滴入れても効果は強くなりません。かえって副作用が増えてしまいます。
- 2. 点眼を入れたら、「まばたき」をしない**
1分間は眼を閉じたままにする。点眼薬のコマーシャルでは、パチパチと「まばたき」をしています。
- 3. 2種類以上使うときは、5分以上間をあける**
そうでないと点眼の成分がお互いに薄めあってしまいます。1つ目の点眼が眼球にしみこんでから、2つ目を入れるということです。
- 4. 保存は、25度以下です**
変質をふせぐためです。冷蔵庫に保存するのが無難です。自動車の中は50℃になることがあり、点眼液を置いておくことはできません。
- 5. 開封して1か月を超えたら、捨てる**
どんなに丁寧に扱っても、点眼ビン内に少しずつバイ菌が入ってきています。それが1か月も積み重なると、眼に悪影響を与えるからです。
- 6. まぶたに付着した点眼液は、ティッシュでそっとふき取る**
この時にティッシュでまぶたを強く押さえると、せっかく入れた点眼液が吸い出されてしまい、効果が減弱します。
- 7. 点眼回数の考え方**
薬袋には、「1日の回数」が明記してあります。「1回」であれば、毎日おなじ時刻に点眼してください。「2回」は12時間おき、たとえば午前8時と午後8時です。この回数より多くしても効果は増えず、点眼液が足りなくなってしまうです。
- 8. 緑内障の点眼薬の中には、「点眼後5分過ぎたら洗顔」と指示があるものがあります**

【眼科診療部長 丸山 泰弘】

